

令和7年度版いるましの環境 第三次入間市環境基本計画環境報告書に対して寄せられた意見と市の考え方

入間市では、令和7年12月10日から令和8年1月9日までの期間で、令和6年度における入間市の環境の現状と「第三次入間市環境基本計画」に基づいた指標の評価を年次報告書としてまとめた、「令和7年度版いるましの環境 第三次入間市環境基本計画環境報告書」に関して、市民のみなさまの意見募集を行いました。その結果、6人の方から13件のご意見が寄せられました。寄せられたご意見と、それに対する市の考え方は次の通りです。

なお、いただいたご意見については、一部要約しております。また、市の環境施策と趣旨が異なるご意見につきましては掲載および回答を差し控えさせていただいております。

| No. | 箇所 | ご意見等 | 市の考え方(対応) |
|-----|-----------|---|---|
| 1 | 14 ページ | PPA 方式で市内公共施設への太陽光発電設備を設置したとのことですが、今後はペロブスカイト太陽電池をくまなく設置して、他自治体をリードしていただきたいです。 | ペロブスカイト太陽電池については、発電効率や耐久性、費用対効果などの課題を十分検討の上、実証実験などの段階を経て導入していく技術であると認識しています。 環境政策を推進するため、既存の技術だけでなく、新しい技術にも注視し、必要な施策を推進してまいります。 |
| 2 | 21 ページ | 地場農産物の売り上げの伸び率と温室効果ガス排出削減量との相関関係を数値で示して説明してください。 | 地場農産物の販売促進は、「基本方針2豊かな自然環境の保全」の取り組みです。畑を保全し、自然環境の維持に貢献することが目的です。 温室効果ガス排出量削減にも資する取り組みであると考えますが、相関関係の数値化は行っておりません。 |
| 3 | 24 ページ | 八ツ池公園の池の少し上の地面に、排水口から污水が流れてきます。また、池にも污水が流れています。自然のカモが住んで生きているのでどうかしてほしいです。 | 個別のご意見・ご要望は、報告書に関する意見とは異なりますので、関係部署に報告し、今後の施策の参考とさせていただきます。 |
| 4 | 24 ページ | 八ツ池公園の池の水は昔から汚いです。水の入れ替えや污水が出ないように工事をしていただきたいです。 | 個別のご意見・ご要望は、報告書に関する意見とは異なりますので、関係部署に報告し、今後の施策の参考とさせていただきます。 |
| 5 | 24 ページ | やまゆり荘～ヤオコー仏子店行きの一ーろーどは、どんどん乗る人が増えて乗り切れないことがしばしばあります。 今のバスでは大きな荷物が入らないので、もう少し大きいバスにしていきたいです。 また、時間が悪いと1～2時間待つことがあるので、もう少し本数を増やしてほしいです。 | コミュニティバスの運行に関するご意見・ご要望は、関係部署に報告し、今後の施策の参考とさせていただきます。 |
| 6 | 26 ページ | 伝統文化活動団体の支援や協働による事業が、なぜ地球温暖化対策につながりゼロカーボンシティの実現に向かうのか、数値を示して説明してください。 | 伝統文化活動団体の支援や協働は、環境基本計画の基本方針 3 における基本施策 3「歴史・文化を大切に景観の保全」の具体的取組です。郷土の歴史や文化への愛着を通じて環境保全への関心を高め、環境負荷軽減の啓発につなげるものであり、地球温暖化対策やゼロカーボンシティの実現との相関関係の数値化は行っておりません。 |
| 7 | 28 ページ | 水道の水質が大変気になっています。カルキ臭いし、水回りにはすぐピンクのドロドロしたものがつきます。このまま飲み続けて大丈夫なのでしょう。多摩区の水道をそのまま飲んで、入間市の水がひどい味だと知りました。不安で仕方ありません。 | 個別のご意見は、報告書に関する意見とは異なりますので、関係部署に報告し、業務の参考とさせていただきます。 なお、市が供給する水は、配水区域ごとの給水栓(蛇口)で定期的に水質検査を実施し、水質基準に適合していることを確認しています。 |

| | | | |
|----|-----------|---|---|
| 8 | 30 ページ | <p>「環境に関する様々なイベントや講座があります」と記載されていますが、公民館での環境に関する講座が探せません。また、令和6年度は環境市民講座等の開催回数が2回となっており、「いるま環境フェア」も中止になってしまいました。事実と異なる記載ではないでしょうか。</p> <p>また、小・中学生を対象としたイベントだけでなく、全市民を対象とした大規模なイベントを早急に開催していただきたいです。</p> | <p>ご指摘の箇所につきましては、第三次入間市環境基本計画を抜粋し記載している部分です。令和6年度は、いるま生涯学習出前講座や埼玉県立入間向陽高校と連携事業を実施しました。</p> <p>令和7年度以降の第三次入間市環境基本計画(改定版)では、イベント等を開催し、市民のみならず「入間市の環境」を学び体験する機会を創出することを目指しています。いただいたご意見は今後の施策の参考とさせていただきます。</p> |
| 9 | 36 ページ | <p>令和6年度における取組施策 73 項目のうち30%にあたる 22 もの項目が、悪化、未着手・その他となっています。入間市の環境の現状と様々な施策に対する理解と協力を深めてもらうために、市民の方々になぜ悪化してしまったのか詳しい理由を述べるのが筋ではないでしょうか。信ずるに足る報告書であるならば、悪化などしてしまった理由を一つ一つ正直かつ丁寧に述べてください。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。次年度以降の報告書作成の際に参考とさせていただきます。</p> <p>今年度、悪化、未着手・その他となっている理由については、別紙のとおりです。</p> |
| 10 | 41 ページ | <p>「これらの取り組みにより、市民等への次世代自動車の導入を促進しています」と記載されていますが、市内にあるすべての自動車販売店に対して、新車のガソリン・ディーゼル車の販売を禁止し、電気自動車をはじめとする次世代自動車のみを販売するよう早急に協力を求めてください。市役所が強力なリーダーシップを発揮して日本でいち早く販売禁止の取り組みを始めた自治体を目指していただきたいです。</p> | <p>ガソリン車の販売禁止は考えておりませんが、国や県の動向を注視し、必要な施策を適切に実施していくよう努めます。</p> |
| 11 | 43 ページ | <p>一般廃棄物分を除く市の事務事業における CO₂ 排出量を令和 12 年度に平成 25 年度比 51%削減と記載されていますが、51%の算出方法を教えてください。</p> | <p>日本は、2021 年 4 月 22 日に地球温暖化対策推進本部の決定を踏まえ、米国主催気候サミットにおいて、2050 年ネット・ゼロと総合的で野心的な目標として、2030 年度に温室効果ガスを 2013 年度から 46%削減することを目指すこと、さらに 50%の高みに向け挑戦を続けることを表明しました。</p> <p>市の事務事業は率先して実施すべきものと考え、削減量 50%超を目指し 51%削減を目標としています。</p> |
| 12 | 46 ページ | <p>庁内研修等を通して、職員に省エネ行動の徹底を呼び掛けていますと記載されていますが、電気自動車をはじめとする次世代自動車とガソリン車を通勤手段としている職員のそれぞれの人数を教えてください。</p> <p>また、市議会議員の次世代自動車利用人数も併せて教えていただきたいです。</p> <p>庁内職員研修だけでなく、議員研修について研修回数と研修方法、実施していない場合はその理由を教えてください。</p> | <p>職員、市議会議員が使用している車両の種類については把握しておりません。</p> <p>また、市議会議員向けの研修は実施していませんが、市議会議員の方々には市のイベントや市民向けの啓発事業に積極的に参加していただいています。</p> |
| 13 | 全体 | <p>いるまの環境の「いるまし」がひらがな表記なのはなぜでしょうか。いつからひらがな表記となっているのでしょうか。</p> | <p>平成 12 年 3 月に「(第一次)入間市環境基本計画」を策定し、初めて報告を行った平成 14 年度からひらがな表記を使用しており、現在もそれを踏襲しています。</p> |

評価が悪化、未着手・その他となった指標一覧

| 1 循環型社会の更なる推進と地球温暖化対策の推進 | | | | | |
|--------------------------|------------------------|--------------------|----------|-----|--|
| 指標番号 | 指標 | 目標値 | R6実績 | 評価 | 悪化等の理由 |
| 7 | ごみの資源化 | 30.0%以上 | 23% | ↓悪化 | ペーパーレス化により雑誌・新聞などの対象物が年々減少しており、資源化率が基準年度（H30年度）と比べて悪化しています。 |
| 9 | 資源再利用奨励補助の推進（団体数） | 260団体 | 177団体 | ↓悪化 | 人口減や高齢化に加え、市民の地域団体等への関わり方が変わってきていることが原因であると考えています。 |
| 10 | 資源再利用奨励補助の推進（回収量） | 3,600t/年 | 1,198t/年 | ↓悪化 | 回収団体数が減っていることに加えて、対象物の減も要因となっています。 |
| 14 | 次期最終処分場の建設に向けた検討・計画の策定 | 計画策定 | | その他 | 埋立処分から資源化への方針転換により、最終処分場を建設しない方針としました。 |
| 15 | 住宅用省エネルギー設備設置費補助金 | 150件/年 | 106件/年 | ↓悪化 | 国の交付金等を財源として活用するため、対象物や補助金額を変更しました。施策誘導効果が高い設備に対して高い補助率で補助金を交付するため、件数は減少しました。 |
| 21 | 雨水利用タンク補助金交付件数 | 10件/年 | | その他 | 令和5年3月31日までの期限付き補助制度であったことから、施策効果等も考慮の上、制度を廃止しました。 |
| 2 豊かな自然環境の保全 | | | | | |
| 指標番号 | 指標 | 目標値 | R6実績 | 評価 | 悪化等の理由 |
| 37 | イベント開催による情報提供 | 自然展 いるま環境フェアの開催 | 自然展の開催 | ↓悪化 | いるま環境フェアの共催団体である入間市環境まちづくり会議が解散に向けて動いていたことから、団体との協議によりいるま環境フェアは実施しないこととなりました。 |
| 39 | 外来種（コクチバス）の捕獲 | 対策の推進 | 29尾 | ↓悪化 | 捕獲量が減少したため悪化としました。現時点で、詳しい原因はわかっていません。 |
| 3 住みやすさが実感できる都市環境の構築 | | | | | |
| 指標番号 | 指標 | 目標値 | R6実績 | 評価 | 悪化等の理由 |
| 41 | 保護樹林・市民の森の面積 | 現状維持 | 3.3ha | ↓悪化 | 保護樹林の制度を借り上げ型から奨励型に変更したことが要因と考えられます。 |
| 43 | 生垣奨励補助による設置件数 | 100m/年 | | その他 | 補助金制度の見直しを行い、現在は当該補助金制度を実施していません。 |
| 48 | 文化財保護啓発事業への参加人数 | 250人/年 | 209人/年 | ↓悪化 | 令和5年度は特別展示により参加人数が特異的に増加したため、R6年度は前年度比較で悪化となりました。目標には届きませんが、参加者数は年々増加傾向です。 |
| 49 | 旧石川組製糸西洋館、旧黒須銀行の来館者数 | 10,000人 | 3,823人 | ↓悪化 | 旧黒須銀行の復元修理工事を行っていたため、来館者数が減少しました。 |
| 51 | 伝統文化活動団体の会員数 | 760人 | 730人 | ↓悪化 | 令和6年度は、令和5年度より増加していますが、現況値（H30年度）より減少したため悪化としています。なお、現時点でその要因はわかっていませんが、コロナ禍以降、発表の機会等が減少したことも一つの要因と考えています。 |

4 安心して健康に暮らせる生活環境環境の保全

| 指標番号 | 指標 | 目標値 | R6実績 | 評価 | 悪化等の理由 |
|------|-----------------|------|------|-----|--|
| 54 | 工場・事業所等への水質調査件数 | 9件/年 | 5件/年 | ↓悪化 | 近年の実績に基づき対象を絞って調査を実施しています。件数は減少していますが必要な調査は実施できていると考えています。 |

5 環境学習の推進と環境活動の実践

| 指標番号 | 指標 | 目標値 | R6実績 | 評価 | 悪化等の理由 |
|------|-------------------------------|-------------|---------------|------|--|
| 58 | いるま環境フェアへの参加団体数 | 50団体 | 中止 | ※未実施 | 共催団体である入間市環境まちづくり会議が解散に向けて動いていたことから、団体との協議によりいるま環境フェアは実施しないこととなりました。 |
| 59 | 環境市民講座等の開催回数 | 12回/年 | 2回 | ↓悪化 | 環境市民講座は令和4年度を持って終了しました。いるま生涯学習出前講座で温暖化対策等の講座を行いました。申込件数が減少し悪化となりました。 |
| 61 | 博物館と学校の連携による環境学習への参加者数 | 5,500人/年 | 4,623人/年 | ↓悪化 | 予定していた全小・中学校の博物館学習を行いました。児童数の減少により参加者数が減少し、悪化となっています。 |
| 66 | COOL CHOICE 運動について、広報いるまへの掲載数 | 2回/年 | 0回/年 | ↓悪化 | COOL CHOICE 運動はデコ活に取り込まれ、実施内容が大きく変わっています。掲載スペースの都合により令和6年度は広報いるまへの掲載は行っていません。適宜 SNS やホームページを通じて必要な情報発信を行っています。 |
| 68 | フリーマーケットなどの開催回数 | 11回/年 | 10回/年 | ↓悪化 | コロナ禍の対応で、あおぞらフリーマーケットを廃止したことにより、年1回減少し、基準値より悪化となっています。 |
| 69 | 資源再利用団体の登録数 | 260団体 | 177団体 | ↓悪化 | 人口減や高齢化に加え、市民の地域団体等への関わり方が変わってきていることが原因であると考えています。 |
| 70 | 資源再利用団体の回収量 | 3,600t/年 | 1,199t/年 | ↓悪化 | 回収団体数が減っていることに加えて、対象物の減も要因となっています。 |
| 71 | 市民清掃デーの参加世帯数の割合 | 自治会加入世帯の85% | 自治会加入世帯の70.9% | ↓悪化 | 高齢化や、市民の自治体活動への参加状況が変わってきていることが要因だと思われます。 |